

## 1. 木質バイオマス関連情報

■(株)竹中工務店(大阪)、(一社)Deep Japan Lab(岐阜)、NPO法人グリーンズ(東京)が、共同プロジェクト『キノマチプロジェクト』を立ち上げ、各種取り組みをスタート。キノマチプロジェクトは、まちと森がいかしあう関係が成立した地域社会『キノマチ』を実現するために、まちづくり・森づくりのプレイヤーたちが、共に学び、共に行動を起こしていく活動体。木材を中心とした森林資源をまちで多く活用することで、木をめぐる社会問題を解決する足がかりとなることを目指す。具体的な活動として、リアル版とオンライン(SNS)版の『キノマチ会議』の企画、運営や、『キノマチウェブ』の編集、配信等を行う。業界・専門分野を越えて多くのステークホルダーが集い、木材を活用して、まち・産業・エネルギーなどの持続可能性に寄与するとともに、SDGs(国連で採択された持続可能な開発目標)の推進にも大きな役割を果たしていくとしている【(株)竹中工務店：

2020/05/18、キノマチウェブ】

<https://www.takenaka.co.jp/news/2020/05/01/index.html>

<https://kinomachi.jp/>

■九電みらいエナジー(株)(福岡)、福岡県筑前町で建設を進めてきた「ふくおか木質バイオマス発電所」の営業運転を開始したと発表(5月20日)。福岡県内では初となる国内材専焼の木質バイオマス発電。発電出力は5,700kW(発電端)、年間発電電力量は一般家庭約1.3万世帯に相当する約4,000万kWh、CO<sub>2</sub>削減効果は約1.4万t-CO<sub>2</sub>/年の見込み。福岡県内森林組合等の計26団体により組織される「ふくおか木質バイオマス木材安定供給協議会」から間伐材などの未利用木材の供給を受け、中山ホールディング(株)(福岡)が90%、九電みらいエナジーが10%の共同出資会社「グリーンパークN&M(株)」が木質チップを製造、九電みらいエナジーが発電所の運営を行う【九電みらいエナジー(株)：2020/05/20】

<https://www.q-mirai.co.jp/news/archives/214>

■ENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社(北海道室蘭市)、「室蘭バイオマス発電所」の商業運転を5月24日より開始。同社は、JTXGエネルギー(株)(東京)が90%、日揮ホールディングス(株)(神奈川)が10%出資し2016年10月に設立。室蘭バイオマス発電所の最大出力は7.49万kWでPKSのみを燃料とする発電所としては国内最大級。2017年にJTXGの遊休地で着工し、2019年11月には試運転を開始。整備費用は約250億円。燃料のPKSは発電所に隣接する埠頭に東南アジアから荷揚げし、燃料置き場に保管、コンベヤーで800m離れた発電所に運ぶ。発電した電力はFITを活用し売電する予定【日本経済新聞、JTXGエネルギー(株)：

2020/05/25】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ059523190V20C20A5L41000/?ct=ga>

[https://www.no.e.jxtg-](https://www.no.e.jxtg-group.co.jp/newsrelease/2011378_01_20200525pdf.pdf)

[group.co.jp/newsrelease/2011378\\_01\\_20200525pdf.pdf](https://www.no.e.jxtg-group.co.jp/newsrelease/2011378_01_20200525pdf.pdf)

■長野県下伊那郡松川町、町営の「信州まつかわ温泉清流苑」に木質チップボイラ導入を計画。5月25日開催の議会全員協議会で導入検討調査結果を報告。それによると、同温泉施設の維持管理費・燃料費の削減やCO<sub>2</sub>排出量の削減を目的として、環境省の「2019年度(平成31年度)二酸化炭素排出抑制対策事業」補助金を活用し、調査事業を実施。「清流苑(温泉)のみ」、「施設内にある温水プールのみ」、「清流苑とプールの両方」の三パターンで検討し、燃料費の削減率や投資回収年数などから清流苑単独に導入するのが最適と判断。またチップボイラについてはカタログ等の資料から数社抽出し調査。1)現在安定稼働している、2)補助金での採択数、3)保守・メンテナンス、4)運営オペレーションの4項目を総合的に判断した結果、(株)WBエナジー(東京)が輸入・販売するKWB社(オーストリア)製チップボイラ(定格出力300kW)に決定。燃料の木質チップは森林組合等の林業業者が主な調達先で、地域の農家から出る剪定枝の活用も想定。

これにより、現在の灯油ボイラと比較して 530t/年 CO<sub>2</sub> を削減できる見込み【松川町議会全員協議会資料：2020/05/25】  
[https://www.town.matsukawa.lg.jp/material/files/group/11/20200525\\_zenkyou\\_document\\_1.pdf](https://www.town.matsukawa.lg.jp/material/files/group/11/20200525_zenkyou_document_1.pdf)

■イギリスの大学が、大量発生した海藻からバイオ燃料や肥料を生成する方法を研究。浮遊性の海藻「サルガッサム」が大量に繁殖してきており、2018年6月には海洋循環のため 2,000 万 t 超ものサルガッサムが西アフリカからメキシコ湾まで（約 8,850 km）ベルト状に広がるなどしている。そこでイギリスのエクセター大学とバース大学が共同でカリブ海と中米のビーチから海藻を回収。通常、海洋バイオマスの処理には海藻を真水で洗った後に乾燥させる方法が用いられるが、コストがかかるため、酸性と塩基性の触媒を使用して海藻から糖を取り出し、パーム油の代替品を生み出す酵母を養うのに使用。そして残りの海藻を水熱液化と呼ばれる処理方法で高温高压にさらし、燃料や低コストの肥料に加工できるバイオオイルに変換。さらにエクセター大学アレン教授の 12 歳の息子ロージー君の一言から、ビーチで収集されたプラスチックもこのプロセスで海藻と一緒に変換できるよう研究を進め、可能にした。この研究は英国政府等複数の機関が支援。海藻ベースのバイオリファイナリーを構築し、地域の課題解決と世界への展開を目指す【IDEAS FOR GOOD：2020/05/27】

<https://ideasforgood.jp/2020/05/27/seaweed-bio-fuel/>

■中国木材（株）（広島）、宮崎県にある日向工場バイオマス発電所（出力 18,000kW）を定期点検のため一時停止に。同工場に電力を供給する九州電力（株）（福岡）の送電線が補修工事で 5 月 28 日～月末まで使用できなくなるため、工場の電源を落とし定期点検に入るという。工場は 6 月 1 日より稼働を再開し、バイオマス発電設備は同月 7 日から再稼働する予定【リム情報開発（株）：2020/05/27】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1541968.html>

■国際紙パルプ商事（株）（東京）、バイオマス発電所運転支援システム「BM ecomo」を本格的に市場投入へ。商業ベースのバイオマス専焼発電は歴史が浅く、市場成長が進む中、燃料品質のばらつきが大きい木質燃料の発電オペレーションの

継承・ノウハウの蓄積が出来ていないことや、燃料起因の予期せぬ設備トラブルといった様々な課題が生じている。BM ecomo はバイオマス発電所から得られるあらゆるデータを収集・解析し、日々の運転、事業経営・管理を支援。さらに最新テクノロジーを活用し、燃焼効率・保安全管理の劇的な向上、あらゆる見える化と匠の技術継承を実現し「徹底した効率化」と「利益の最大化」を追及するという。システムのプロトタイプは昨年完成。現場での運用に耐えるよう、三重県松阪市でバイオマスパワーテクノロジーズ（株）（三重、以下「BPT」）が運営する松阪木質バイオマス発電所で実証試験を繰り返しながら磨いた。国際紙パルプ商事はその BPT 関係者のコメントも含めた、BM ecomo の特設サイトを開設【OSR No.421：2020/05/27、国際紙パルプ商事（株）：2020/05/28】

<https://www.kppc.co.jp/ja/news/news/news-30539602688500000528.html>

■電力広域的運営推進機関（OCCTO）（東京）、2019 年度に発電事業者などから申し出があった送配電等業務に関する苦情・相談対応について取りまとめ、公表（5 月 27 日）。公表しているのは 2019 年度に受け付けた苦情と相談が 20 件、前年度からの継続案件 1 件の合計 21 件。21 件中、苦情・相談の申出者は全て「発電事業者等」からで、クレームの対象者は全て「一般送配電事業者等」だった。クレーム内容では「工事費負担金が多額であること」や「増額に納得がいけない」といった「システムアクセスの費用負担」についてが 10 件で最多【OCCTO：2020/05/27、環境ビジネスオンライン：2020/06/01】

[https://www.occto.or.jp/funsou/oshirase/files/200527\\_2019\\_soudantaiou.pdf](https://www.occto.or.jp/funsou/oshirase/files/200527_2019_soudantaiou.pdf)

<https://www.kankyo-business.jp/news/025188.php>

■山形県警（山形）、爆発したバイオマス発電施設試験運転の社員を書類送検。爆発事故は昨年 2 月、山形県上山市金谷のバイオマス発電施設「山形バイオマスエネルギー」で発生。山形県警は 6 月 1 日、業務上過失傷害の疑いで東京都内の発電施設設計・施工会社の社員 2 人を書類送検、いずれも容疑を認めている。書類送検容疑は、バイオマスガス発電施設の試験運転中、生成する水素混合ガス中の酸素濃度が想定より高いと認識したにもかかわらず運転を中止しなかったため、

水素爆発が発生。衝撃で水素ガスを貯蔵するタンク上部の金属製の円形蓋（約 500 kg）が飛び、約 30m離れた民家住宅に落下。30 代女性の頭や首にけがを負わせた件【産経新聞：2020/06/01】

<https://www.sankei.com/affairs/news/200601/afr2006010011-n1.html>

■大東建託（株）（東京）、6月8日に「ROOFLAG（ルーフラッグ）賃貸住宅未来展示場」を江東区東雲にオープン。

ROOFLAG は賃貸住宅経営の未来に向けた同社の考えや取り組みについて、ショールーム機能を備えた展示棟や同社賃貸住宅商品のモデル棟、最新の技術を伝える研究展示で紹介する情報発信施設。同社は2019年1月、国際的な環境イニシアチブ「RE100」に加盟。2040年までに事業活動の消費電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指しており、その第一歩として同施設で使用する全ての電力を森の電力（株）（東京）が供給する森林未利用材や製材端材、建廃木材を燃料とするバイオマス発電による再生可能エネルギーで賄っている。敷地面積は2,989.95㎡/904.5坪、建築面積は1,493.95㎡+モデル棟299.58㎡。総事業費（土地取得・設計・建設など）は約90億円【PR TIMES、大東建託（株）：2020/06/02】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000171.000035668.html>

<https://www.kentaku.co.jp/rooflag/>

■経産省近畿経済産業局（大阪）、「令和元年度廃棄物の排出抑制等に資するバイオマスの有効活用事例調査」事業報告書を公表。同局では平成28年以降主に廃棄物をバイオマスとして活用する先進的な事例を調査してきたが、令和元年度は「循環させる仕組みに求められる技術、ノウハウ」や「持続可能な地域づくり」に焦点を当てて実施。超高層ビルで行われている生ごみからの発電や、ごみ焼却施設にバイオガス化施設を併設したメタン・コンバインドシステム、木質バイオマス発電と熱エネルギー利用など、様々な事例が紹介されている【経産省近畿経済産業局：2020/06/04】

[https://www.kansai.meti.go.jp/3-6kankyo/R2fy/biomass\\_report01.html](https://www.kansai.meti.go.jp/3-6kankyo/R2fy/biomass_report01.html)

■（一社）低炭素投資促進機構（東京）、バイオマス発電の2020年度入札期日の延長を発表。6月5日に経産省が調達価格等算定委員会（第57回）を開催。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて議論した結果、バイオマス発電設備第3回入札は当初の予定通り6月12日から受付を開始するとともに、準備の遅れが生じている事業者がいる可能性も考慮し、受付期間を当初スケジュールの6月26日から7月22日まで延長すると決定。上限価格の非公表及び募集容量については当初の予定通り【（一社）低炭素投資促進機構：2020/06/05】

<https://www.teitanso.or.jp/news/2020%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e5%85%a5%e6%9c%ad%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%a6/>

■大分県竹田市、市内直入町の市有地にバイオマス工場が進出すると発表。6月4日開催の市議会全員協議会で首藤勝次市長が説明。本年度中に契約予定【大分合同新聞 Gate：2020/06/05】

<https://www.oita-press.co.jp/1010000000/2020/06/05/JD0059274814>

■エフビットコミュニケーションズ（株）（京都）、高知県本山町木能津に木質バイオマス発電所建設へ。県内の建設会社を中心に見積もりを依頼しており、10月頃着工を目指し、施工者を選定する。同社は今年3月2日、高知県内で次世代園芸施設を構築し、営農事業および付帯する事業を展開する100%出資子会社「エフビットファームこうち（株）」を設立。現在計画中の本山町における次世代園芸施設（バイオマス発電+農業施設）の主体運営を行い、その後は高知県内において事業展開を進める予定【建通新聞：2020/06/05、エフビットコミュニケーションズ（株）：2020/03/25】

[https://www.kentsu.co.jp/webnews/html\\_top/200603200053.html](https://www.kentsu.co.jp/webnews/html_top/200603200053.html)

<https://www.fbit.co.jp/news-parent/news/1136.html>

■（株）IHI（東京）、NEDO（神奈川）と開発事業を進め、確立した微細藻類（ボツリオコッカス・ブラウニー）からバイオジェット燃料を安定生産する技術により、国際規格「ASTM D7566 Annex7」を取得。ASTM D7566規格は国際的な標準化・規格設定機関である ASTM International が定めるバイオジ

ェット燃料の製造に関する規格。この規格に適合した燃料は既存ジェット燃料と同性状であり、既存の燃料と混合使用してもエンジンなどの航空機材や燃料供給設備といったインフラの改修を必要としないドロップイン型燃料とされ、国内外の民間航空機の運航で使用可能となっている。本年中に同事業で生産したバイオジェット燃料を国内定期便に供給し、商用飛行デモフライトを予定【NEDO：2020/06/08】

[https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5\\_101314.html](https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101314.html)

■グリーン・サーマル（東京）が和歌山県上富田町生馬に建設していた木質バイオマス発電の紀南発電所、6月10日から商業運転開始。発電所は西牟婁森林組合田辺木材共販所（同町）の隣接地を造成して建設。同事業向けに設立されたDSグリーン発電和歌山合同会社（同町）に大和エナジー・インフラ（株）（東京）が資金拠出し、グリーン・サーマル監修のもと、開発を進めてきた。発電出力は6,800kW、年間送電量は約4,800万kWh、一般家庭の約1万3千世帯分を賄える。燃料には間伐材等の未利用材や一般材、PKS等を計7万6,000t/年使う見込み。発電事業はグリーンサーマル和歌山（株）（同）が運営する。木質バイオマス発電所の稼働は県内初【AGARA 紀伊民報：2020/06/08、大和エナジー・インフラ（株）：2020/06/10】

<https://www.agara.co.jp/article/64698>

<http://www.daiwa-ei.jp/news/pdf/20200610a.pdf>

■日揮グループのエネルギー・環境コンサルティング事業会社である日本エヌ・ユー・エス（株）（東京）が富山市及び富山市内企業と共同提案した3案件が、環境省事業「令和2年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業」に採択。採択された案件は、インドネシア共和国、モルディブ共和国、マレーシアと、いずれも海外で実施する事業。このうちマレーシアで実施するのは「バイオ燃料を活用した脱炭素交通による都市開発及び再生可能エネルギーの普及による脱炭素都市形成事業」。マレーシア国のジョホール州イスカンダル地域及びサバ州コタキナバル市において、パームオイルからバイオ燃料を回収し、活用する低炭素公共交通事業の検討を行う。この事業では富山市の北酸（株）が輸送効率化技術と燃料利用技術の提供を行う。また同事業では、グループ会社である日揮グローバル（株）（神奈川）が今後の展開を目指しているバイオガス液化技術の活用も検討する予定【日揮ホールディン

グス（株）：2020/06/08、日本エヌ・ユー・エス（株）：2020/5月】

<https://www.jgc.com/jp/news/2020/20200608.html>

<http://www.janus.co.jp/tabid/100/Default.aspx?itemid=340&dispmid=453>

■電気設備工事などを手掛ける（株）タクミ電機工業（秋田県大館市）が、市営釈迦内産業団地で木質バイオマス発電事業参入へ。地元材のチップをガス化して駆動するフィンランド製小型バイオマス熱電併給システム「Volter」を12台設置する計画。出力は40kW/台、12台で480kWとなり、一般家庭340世帯分を売電する。発電時の熱はチップ乾燥に使う。投資額は7億円規模。年内に着工し、年明けにも稼働したい考え【（株）北鹿新聞：2020/06/11、（株）タクミ電機工業】

[http://www.hokuroku.co.jp/publics/index/51/detail%3D1/b\\_id%3D848/r\\_id%3D3434/&ct=ga](http://www.hokuroku.co.jp/publics/index/51/detail%3D1/b_id%3D848/r_id%3D3434/&ct=ga)

<http://takumi-denki.com/>

■環境省、「令和2年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」が6月12日（金）に閣議決定されたと発表。本年の白書は「気候変動時代における私たちの役割」として、政府、自治体、企業、個人による脱炭素型、自立分散型の社会づくりに向けた具体的な取組等について記載【環境省：2020/06/12】

<http://www.env.go.jp/press/108093.html>

■JXTGホールディングス（株）（東京）およびCHITOSE BIO EVOLUTION PTE. LTD.（シンガポール、以下「ちとせ」）、藻類バイオマスの培養規模拡大と藻由来の製品開発についての協業に関する契約を締結（6月15日）。これに先立ち今年3月末、JXTGはJXTGイノベーションパートナーズ合同会社（東京）を通じ、ちとせに資本参画。今回のちとせグループとの協業においては、太陽エネルギーが豊富なマレーシアで藻類培養の規模拡大に取り組むとともに、そこで生産した藻類由来の燃料、ケミカル、飼料、機能性素材など多様な製品の開発に取り組み、事業化を目指す【JXTGホールディングス（株）：2020/06/15】

[https://www.hd.eneos.co.jp/newsrelease/20200615\\_01\\_1070022.pdf](https://www.hd.eneos.co.jp/newsrelease/20200615_01_1070022.pdf)

■国立研究開発法人科学技術振興機構（埼玉、以下「JST」）、早稲田大学の研究グループがバイオディーゼル原料植物の成長促進に成功した研究について公表。研究グループは、JST 戦略的創造研究推進事業における研究の中で、バイオディーゼルの原料植物として注目されている「カメリナ」にシロイヌナズナ由来の高速型ミオシンを異種発現させ、植物の成長促進や種子数を増加させることに成功。種子の生産量が増えることでバイオディーゼルの生産や、さらに高速型ミオシンが植物増産技術として汎用性を持つことが示された。同研究課題では、ミオシンのさらなる高速化によりシステムとしての完成を進めるとともに、資源植物として有望視されているイネでの検証実験を行い、様々な植物バイオマス増産に適応可能な普遍的基盤技術としての確立を目指す【JST：2020/06/16】

<https://www.jst.go.jp/pr/announce/20200616-3/index.html>

■林野庁、「令和元年度森林・林業白書」を公表。特集テーマは「持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業」。2019年度のトピックとして「森林経営管理制度、森林環境譲与税のスタート及び国有林野管理経営法の改正」、「東京オリンピック・パラリンピック競技会場等における木材利用」、「スマート林業のフル活用を始めた『林業イノベーション』の推進」等を挙げている。第1章以降の各章においては例年通り、森林・林業、木材産業等の主な動向について記載【林野庁：2020/06/16】

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r1hakusyo/index.html>

■北海道新得町の町民団体などが、原発のない北海道の実現を訴えて街頭宣伝活動（6月13日）。新得町の国道38号沿いで、約30人が「フクシマを忘れない、原発やめよう」、「泊原発を廃炉に」などと書かれたプラカードやのぼりを掲げてアピール【毎日新聞：2020/06/18】

<https://mainichi.jp/articles/20200618/ddl/k01/040/084000c>

■大分県日田市清水町にあるバイオマス資源化センターでガス爆発事故が発生。日田市によると6月18日午前11時30分頃、生ごみなどをためる地下にあるタンクの中で可燃性のガスによる爆発が発生。この爆発でマンホールのふた2枚が吹き飛ばされ、1つが約2mの高さにある配管にぶつかり、破

損させた。けが人はいなかった。このタンクでは4年前にも同様の爆発が起きており、施設ではガスが溜まらないように配管を増やすなどの対策が行われていた。市は「原因を調べ、再発防止に努めたい」と話している【msnニュース：2020/06/18】

<https://www.msn.com/ja-jp/news/national/%EF%BC%94%E5%B9%B4%E5%89%8D%E3%81%AB%E3%82%82%E7%99%BA%E7%94%9F-%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E7%99%BA%E9%9B%BB%E6%89%80%E3%81%A7%E7%88%86%E7%99%BA%E4%BA%8B%E6%95%85-%E5%A4%A7%E5%88%86%E3%83%BB%E6%97%A5%E7%94%B0%E5%B8%82/ar-BB15Elx>

■山形県最上町大堀の木質バイオマス発電施設「ZE デザインもがみまち里山発電所」敷地内から6月18日午前3時55分頃出火。木質チップと木造平屋の倉庫約490㎡が全焼。新庄署などによると、倉庫には1区画60㎡のチップ置き場が7区画あり、うち4区画でチップを保管。発電の過程で出る高温状態の木炭も置いていたという。出火当時倉庫は無人で、敷地内の離れた場所にある発電施設は稼働していなかった。近くの事務所にいた当直作業員が火に気付き、119番通報。チップがくすぶり続けたため、約5時間後に鎮火した【山形新聞：2020/06/19】

[https://www.yamagata-np.jp/news/202006/19/kj\\_2020061900413.php](https://www.yamagata-np.jp/news/202006/19/kj_2020061900413.php)

■NEDO（神奈川）、「バイオマスエネルギー地域自立システムの導入要件・技術指針」第四版を公開。同指針は、事業者や有識者へのヒアリング調査ならびに関連する参考資料に基づいて、バイオマスエネルギー事業への参入を検討する事業者が事業計画を作成する際に留意すべき点や考慮すべき情報を取りまとめたガイドライン。「木質バイオマス編」と「メタン発酵バイオマス編」に分けられており、それぞれについての導入要件と技術指針が詳述されている【NEDO：2020/06/19】

[https://www.nedo.go.jp/library/biomass\\_shishin.html](https://www.nedo.go.jp/library/biomass_shishin.html)

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

## 2. ペレット関連情報

■FIT 対象のバイオマス発電の燃料として、ベトナム、タイから輸入される木質ペレットに大量の FSC（森林認証制度）認証偽装の疑惑浮上。関係筋によると、ベトナムからは同国の生産可能枠を約 5.5 倍も上回る「認証ペレット」が日本と韓国に輸入され、タイでは他工場の未認証ペレットを認証付きと偽装して輸入している可能性があるという。タイやベトナム等からの認証ペレット輸入には、三菱商事（株）（東京）、三井物産（株）（同）、住友商事（株）（同）、伊藤忠商事（株）（同）、阪和興業（株）（大阪）等、多くの主要商社が関与しているとされる。また商社から購入して燃料としている発電所は（株）JERA の常陸那珂（茨城）、武豊（愛知）、常磐共同火力（株）・オリックス（株）の響灘（福岡）、相馬（福島）、日本製紙（株）・三菱商事（株）の石巻雲雀野（宮城）、出光興産（株）・昭和シェル石油（株）の京浜（神奈川）、（株）IHI の七ツ島（鹿児島）、九州電力（株）の大分（大分）、丸紅（株）・（株）関電エネルギーソリューションの神栖（茨城）等。米国のエンビバ・パートナーズ LP は 2022 年以降、同社の木質ペレットを日本に 200 万～300 万 t/年輸出する予定だが、同社の 2018 年の HP データによると、対象の森林で FSC 認証を取得しているのは 23% だけ。しかし日本への輸出契約では認証ペレット扱いで各発電所に高く販売される見通しという。現地の事業関係者によると、FSC 認証の偽装が起きる原因として、①日本の輸入者が FSC 認証材の確認方法を十分に知らない②ベトナム、タイの供給者が意図的に認証材を偽装している ③FIT の認定団体が FSC の仕組みを知らず、FSC 認証材の確認が不十分なまま事業者認定をしている④ベトナム、タイの供給者だけでなく、輸入者も偽装に加わっている可能性⑤不正をチェックする経産省と林野庁の体制が脆弱、等の諸点をあげている。ある推計では、FIT による東南アジアでの超過支払い（一般木質バイオマス偽装）が 80 億円/年、今後米国向けで発生が予想される同様の超過支払いが 230 億～335 億円/年となる。FIT での買い取り期間 15～20 年間のこれらにかかわる国民賦課金の増額分は、3,450 億～6,700 億円に達する見込み【（一社）環境金融研究機構：2020/05/23】

<http://rief-jp.org/ct4/102720>

■イーレックス（株）（東京）、2020 年 4 月 24 日付で PKS を対象に GGL 認証（Green Gold Label）を取得。” Green Gold Label” は 2002 年に発足。持続可能なバイオエネルギーの製造、加工、輸送、最終利用までを網羅し、独自の 追跡・記録を担保する認証。GGL 認証は経産省の事業計画策定ガイドラインで認められた認証ではないが、PKS での本認証の取得は発電事業者として日本初。さらに燃料調達子会社のイーレックスシンガポール（シンガポール）が、燃料用木質ペレットを対象とする 2 つの森林認証を取得。国際的な森林認証制度を運営する Forest Stewardship Council（森林管理協議会）の FSC 認証と、世界 36 か国にて独自に設立運営されている森林認証制度を国際的に共通するものとして承認するための Programme for the Endorsement of Forest Certification（森林認証プログラム）の PEFC 認証。イーレックスは、木質ペレットや PKS といったバイオマス燃料の同社取扱量が拡大していく中で、今回の各認証取得は持続可能なバイオマス発電事業推進を目指していくための取組みの一環と位置付けている【イーレックス（株）：2020/05/29】

[https://www.erec.co.jp/news/pdf/press\\_release\\_20200529.pdf](https://www.erec.co.jp/news/pdf/press_release_20200529.pdf)

■（株）プロスペクト（東京）、SBI ホールディングス（株）（東京）およびアール・エス・アセットマネジメント（株）（東京）と再生可能エネルギー事業において業務提携することで基本合意したと発表。プロスペクトは国内でのメガソーラー発電所開発事業やロシアにおける木質ペレットを用いたバイオマス発電関連事業を行っており、再生可能エネルギー事業に関する先端の知見と豊富なノウハウを有している。SBI ホールディングスは、グループ会社の SBI エナジー（株）（東京）が営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）、小水力、小型風力等の発電事業を行うなど、SBI グループ全体として環境保全やエネルギー自給率の向上等に取り組んでおり、アール・エス・アセットマネジメント社は太陽光設備等の再生可能エネルギーファンドに対する投資事業を行っている。業務提携でそれぞれの知見やノウハウ等を活かし、各社のビジネスを一層推進できると判断し、今般の基本合意に至った。今後 3 社で具体的な協議を行い、6 月 30 日までに最終契約を締結する予定【（株）プロスペクト：2020/05/29】

<https://www.prospectjapan.co.jp/ir/pdf/gyoumteikei200529.pdf>

■ベトナムの交通運輸省傘下のクイニョン港社(Quy Nhon Port)、南中部沿岸地方ビンディン省のクイニョン港から東北アジア地域への貨物輸送サービスを開始(6月3日)。東南アジアと東北アジア諸国間の貿易活動が活発化している一方、これまでのルートはシンガポールを経由していたため、輸出にかかるコスト増と商品価値の低下が問題となっていた。現在クイニョン港で取り扱われている主要輸出品は木材チップ、木質ペレット、タピオカで、これらが輸出量全体の6割を占める。新航路の運用により、輸送コスト減とベトナム産品の競争力の向上に加え、中部地方および中部高原地方の輸出促進が期待される【VIETJO:2020/06/05】

<https://www.viet-jo.com/news/economy/200605151905.html>

■2019年、ベトナムは日本にとって最大の木質ペレット輸入相手国に。経産省資源エネルギー庁によると、2019年3月時点のバイオマス発電設備の導入量は400万kWに及んでおり、2030年にかけての導入量は602~728万kWに引き上げられる見通し。日本政府が掲げる2030年度の電源構成の計画によると、バイオマス発電は全体構成比の3.7~4.6%程度までと、7%の太陽光発電に次ぐ数値目標まで引き上げられることが定められている。しかし燃料となる木質ペレットは国内のバイオマス発電所の稼働に十分な量を供給できておらず、2014年以降は輸入量が急増。2018年には輸入量は国内生産量の約8倍に当たる約100万t超を記録した。これを支えているのがベトナムからの輸入ペレット。財務省の貿易統計によれば、2019年における日本のベトナムからのペレット輸入量は2018年の輸入量である37万3,524tから約2.37倍増の88万6,984tに及び、長年日本の木質ペレットの輸入相手国の首位であったカナダからの量を上回る結果に【VIETJO:2020/06/06】

<https://www.viet-jo.com/news/column/200528161456.html>

■FSC ジャパン(東京)、FITを活用したバイオマス発電事業において、ベトナム等の国からの輸入木質ペレットでFSC認証偽装が行われているとの懸念に関して公式見解を発表。指摘されているFSC認証偽装の可能性については、FSC認証制度では管理木材、回収原材料、中立原材料等、認証林に由来しない原材料との混合も認められているため、認証林面積か

ら想定される収穫量を上回る量の認証ペレットが輸入されていることが必ずしも認証偽装や不正取引を示すものとは言えないとのこと。また適切な知識やチェック機能がない中では、当事者間の認識上では「認証材」としての不当な取引が成立してしまうことや、森林の持続可能な利用に貢献する信頼のラベルを消費者に届けることを目的とするFSC認証において、建築廃材を含む回収資源や農業残渣等の非森林由来の原材料の混合が許されることは制度上意図された設計であり、それがFIT制度上問題であるならば、それを認識した上で認証材でも適当なものだけが使われるよう、FIT制度側で体制を整える必要があると指摘。今後について、FSC ジャパンはFIT制度を設計・運営する各機関にも働きかけ、FSC認証がFIT制度において適切に利用され、持続可能なバイオマス利用に貢献できるよう、継続的にインプットを行っていきとしている。さらにバイオマス取引においてFSC認証を利用する全ての事業者のために「FITにおけるFSC認証の利用についてのご注意」と題する文書を用意(下記サイトよりダウンロード可)。不正の可能性については、FSC本部チームや認証機関を監視しFSC制度の信頼性を守る独立機関と問題を共有し、適切な調査が行われるよう今後も努める、としている【FSC ジャパン:2020/06/09】

<https://jp.fsc.org/jp-jp/news/id/677>

■佐賀県唐津市、日本三大松原の一つに数えられる同市の「虹の松原」で枯れて地面に落ちた松の枝葉や松ぼっくりを回収し、発電用バイオマス燃料活用を検討。松原は、落ちた枝葉や松ぼっくりを取り除かないと土壌が肥えて松以外の木が成長し、松が枯れる恐れがある。虹の松原(214ha)では除去が必要な枝葉などが全体で1,000t/年に上るとされるが、人手や予算が限られ、現在は唐津湾に面する北側の一部(約60ha)で約50t/年しか回収できていない。市は2019年度から研究を開始し、葉や枝、松ぼっくりで作ったペレットの利用可能性や採算性について調査。その結果燃やした際に発生するエネルギー量(熱量)は化石燃料の半分程度で、PKS等と混ぜて使うことで燃料として十分活用できることが判明。年間1,000tのペレットを製造し電力会社などに販売した場合、加工費や運搬費を差し引いても年間約300万円の収益が出るとの試算が出た。市は2020年度、活用策の具体化の検討に入り、2023年に市内で民間業者が稼働させるバイオマス発電所への供給を視野に協議を進める予定。自治体電力会社と

して2019年7月に設立した「(株)唐津パワーホールディングス」に供給し、バイオマスボイラで熱を発生させ、ハウスミカン栽培施設や養鶏場等に提供することも検討する【西日本新聞：2020/06/12】

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/616248/>

■北海道電力(株)(北海道)と三井物産(株)(東京)の出資会社「北海道バイオマスエネルギー(株)」(北海道上川管内下川町)が、町内樺戸町で木質バイオマス熱電併給施設を建設中。5月12日に着工。間伐材を活用した木質ペレットを燃料として発電し、最大出力は997kW(一般家庭3,100世帯分の電力に相当)となる。北電の送電網を用い、FITを通じて北電に売電する。発電過程で生じる熱エネルギーは温室栽培

向けなど町内に供給する方向で検討しているが、供給先は未定で希望者を募集中【北海道新聞：2020/06/17】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/431320>

■日本向けバイオ燃料、コロナ禍・認証厳格化でPKSに逆風。コロナ禍による港湾封鎖に伴ってマレーシア積みPKSの出荷が鈍化。さらに資源エネルギー庁が昨秋、FIT向け燃料の持続可能性基準を厳格化する方針を示したことで、東南アジアの小規模なPKSサプライヤーに逆風が生じ、木質ペレットが台頭【日本海事新聞：2020/06/22】

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=258180>

### 3. イベント情報(国内)

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。  
※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■(一社)日本エネルギー学会燃焼部会「燃焼の基礎に関する講習会～エネルギー管理士(熱分野)への第一歩～」

2020年7月18日(土)

日本大学理工学部駿河台校舎(御茶ノ水)(東京都千代田区)

<https://www.jie.or.jp/publics/index/747/>

■(一社)日本エネルギー学会「第29回日本エネルギー学会大会」

2020年8月5日(水)～7日(金)※7日(金)はテクニカルツアー

富山国際会議場大手町フォーラム(富山県富山市)

<https://www.jie.or.jp/publics/index/557/>

■気候変動・省エネルギー行動会議「BECC JAPAN 2020」

2020年8月25日(火)

オンライン開催

<https://seeb.jp/>

◎リードエグジビジョンジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

2020年9月9日(水)～11日(金)

インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■(一社)林業機械化協会「2020 森林・林業・環境機械展示実演会」

2020年10月4日(日)～5日(月)

苫小牧東部地域(北海道苫小牧市)

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

◎CMT「11th Biomass Pellets Trade & Power 第11回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～」

2020年11月4日(水)～6日(金)

東京マリOTTホテル(東京都品川区)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=200501&>

■バイオマスエキスポ事務局「バイオマスエキスポ2020」

2020年11月11日(水)～13日(金)

東京ビッグサイト青海展示棟(「アグロ・イノベーション2020」内、東京都江東区)

<https://www.biomassexpo.info/expo/>

■（一社）サステナブル経営推進機構、他「エコプロ 2020  
『持続可能な社会の実現に向けて』  
2020年11月26日（木）～28日（土）  
東京ビッグサイト西ホール（東京都江東区）  
<https://eco-pro.com/2020/>

■（公社）国土緑化推進機構、他「『森林からはじまるエコライフ展 2020』～森と木で拓く SDGs の提案～」  
2020年11月26日（木）～28日（土）  
東京ビッグサイト西ホール（東京都江東区）（エコプロ 2020  
会場内）  
[https://eco-pro.com/eco2020/pdf/forest\\_exhibition\\_guidance\\_2020.pdf](https://eco-pro.com/eco2020/pdf/forest_exhibition_guidance_2020.pdf)

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek  
内バイオマス展」【東京展】  
2021年3月3日（水）～5日（金）  
東京ビッグサイト（東京都江東区）  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎日本ペレットストーブ工業会「第2回 JAPAN  
PELLETSTOVE SHOW in Nagoya」／2021年度総会  
2021年5月（予定）  
愛知県名古屋市

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会（ISAP2020）」

2021年5月23日（日）～28日（金）  
つくば国際会議場（茨城県つくば市）  
<https://isap2020-phycology.org/index.html>

■日報ビジネス（株）「2021 NEW 環境展」 「2021 地球温暖化防止展」  
2021年5月  
東京ビッグサイト（東京都江東区）  
<https://www.nippo.co.jp/n-expo019/index.htm>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek  
内バイオマス展」【関西展】  
2021年9月29日（水）～10月1日（金）  
インテックス大阪（大阪府大阪市）  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek  
内バイオマス展」【東京展】  
2022年3月2日（水）～4日（金）  
東京ビッグサイト（東京都江東区）  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek  
内バイオマス展」【関西展】  
2022年9月28日（水）～30日（金）  
インテックス大阪（大阪府大阪市）  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

#### 4. イベント情報（海外）

■KWF Tagung 2020  
2020年7月1日（水）～4日（土）  
ヘッセン州シュヴァルツェンボルン（ドイツ）  
<http://www.kwf-tagung.org/kwf-tagung.html>

■UK AD and World Biogas Expo 2020  
2020年7月1日（水）～2日（木）  
バーミンガム（UK）  
<http://www.biogastradeshow.com/>

■World Biogas Summit  
2020年7月1日（水）～2日（木）  
バーミンガム（UK）  
<http://world-biogas-summit.com/>

◎ e-EUBCE 2020 28<sup>th</sup> European Biomass Conference &  
Exhibition  
2020年7月6日（月）～9日（木）  
Virtual（バーチャル会議）  
<https://www.eubce.com/registration.html>

◎The 9th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE 2020)

2020年8月16日(日)～18日(火)

広州市(中国)

<https://pellets-wood.com/the-9th-asia-pacific-biomass-energy-exhibition-ap-o20933.html>

■International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2020年8月24日(月)～26日(水)

ネブラスカ州オマハ(USA)

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■BIO DIESEL Production Technology Summit

2020年8月24日(月)～26日(水)

ネブラスカ州オマハ(USA)

<http://www.biodieselttechnologysummit.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■Asia Solid Fuels 2020

2020年8月26日(水)～27日(木)

ハノイ(ベトナム)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=200821&>

■Expobiogaz 2020

2020年9月2日(水)～3日(木)

リール(フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en/show/lille>

■European Biogas Conference 2020

2020年9月2日(水)～3日(木)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.europeanbiogas.eu/europeanbiogasconference/>

◎6th Biomass & BioEnergy Asia/Recycled Energy Asia

2020/WtE Asia 2020

2020年9月8日(火)～10日(木)

バンコク(タイ)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=20020809&>

■Biomass Trade Summit Europe 2020

2020年9月9日(水)～10日(木)

アムステルダム(オランダ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/biomass-trade/>

◎Svebio Fuel Market Day 2020

2020年9月10日(木)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day/>

■All Energy 2020

2020年9月14日(月)～15日(火)

グラスゴー(スコットランド)

<https://www.all-energy.co.uk/register>

◎Advanced Biofuels Conference 2020

2020年9月15日(火)～17日(木)

ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2020/>

■RWM & Future Resource 2020

2020年9月16日(水)～17日(木)

バーミンガム(UK)

<https://www.rwmexhibition.com/>

■20th Congress for Wood Energy

2020年9月22日(火)～30日(水)

ウェビナー

<https://www.fachkongress-holzenergie.de/en>

■Gasification Summit 2020

2020年9月23日(水)～24日(木)

リヨン(フランス)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/gasification/>

■ASIA Solid Fuels 2020

2020年9月28日(月)～29日(火)

ハノイ(ベトナム)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=200821&>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2020年9月29日(火)～30(水)

キエフ(ウクライナ)

<https://uabioconf.org/en/>

■EFIB 2020

2020年10月5日(月)～6日(火)

フランクフルト(ドイツ)

<https://efibforum.com/>

■13th Biofuels International Conference & Expo

2020年10月6日(火)～7日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.biofuels->

[news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2020.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2020.php)

■International Biomass Congress & Expo

2020年10月6日(火)～7日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.bioenergy->

[news.com/conference/biomass/biomass\\_index\\_2020.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2020.php)

■International Biogas Congress & Expo

2020年10月6日(火)～7日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.bioenergy->

[news.com/conference/biomass/biomass\\_index\\_2020.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2020.php)

■PALMEX Indonesia 2020

2020年10月6日(火)～8日(木)

メダン(インドネシア)

<http://palmoilexpo.com/>

■THE WORLD BIOGAS EXPO 2020

2020年10月7日(水)～8日(木)

バーミンガム(UK)

<http://www.biogastradeshows.com/>

■Biogas Development Forum

2020年10月12日(月)

アムステルダム(オランダ)

[https://informaconnect.com/biogas-development-forum/?vip\\_code=FKA2758BIOINS&utm\\_source=Bioenergy%20Insight&utm\\_medium=referral&utm\\_campaign=Bioenergy%20Insight%20Banner%20referral&utm\\_content=FKA2758BIOINS&tracker\\_id=FKA2758BIOINS](https://informaconnect.com/biogas-development-forum/?vip_code=FKA2758BIOINS&utm_source=Bioenergy%20Insight&utm_medium=referral&utm_campaign=Bioenergy%20Insight%20Banner%20referral&utm_content=FKA2758BIOINS&tracker_id=FKA2758BIOINS)

■100% RHC EVENT 2020 & the International Sustainable Energy Conference - ISEC 2020

2020年10月15日(木)

Online

<https://www.rhc-platform.org/100-rhc-event-2020-the-international-sustainable-energy-conference-isec-2020/>

■7th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2020

2020年10月15日(木)～16日(金)

ヴァイマル(ドイツ)

<http://regatec.org/>

■10th European Algae Industry Summit

2020年10月20日(火)～21日(水)

レイキャビク(アイスランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

◎USIPA 2020 Exporting Pellets Conference

2020年10月26日(月)～28日(水)

フロリダ州マイアミ(USA)

<https://theusipa.org/2020-conference>

■World Bio Markets 2020

2020年11月2日(月)～4日(水)

アムステルダム(オランダ)

[https://www.worldbiomarkets.com/?utm\\_source=BioenergyInsight&utm\\_medium=affiliate&utm\\_campaign=mp\\_WBM20\\_BioenergyInsight\\_eventcalendar](https://www.worldbiomarkets.com/?utm_source=BioenergyInsight&utm_medium=affiliate&utm_campaign=mp_WBM20_BioenergyInsight_eventcalendar)

■ECOMONDO The Green Technology EXPO

2020年11月3日(火)～6日(金)

リミニ（イタリア）

<https://en.ecomondo.com/>

■ALL-ENERGY Exhibition and Conference 2020

2020年11月4日（水）～5日（木）

グラスゴー（スコットランド）

[https://www.all-energy.co.uk/register?utm\\_source=woodcoat\\_media&utm\\_medium=referral&utm\\_campaign=barter&utm\\_label=referral&utm\\_content=website\\_banner\\_300x100](https://www.all-energy.co.uk/register?utm_source=woodcoat_media&utm_medium=referral&utm_campaign=barter&utm_label=referral&utm_content=website_banner_300x100)

■Future of Biogas Europe 2020

2020年11月11日（水）～12日（木）

ベルリン（ドイツ）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■European Bioenergy Future 2020

2020年11月17日（火）～19日（木）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/159-european-bioenergy-future-ebf-2020.html>

■European Biosolids & Organic Resources Conference

2020年11月24日（火）～25日（水）

ニューカッスル・アポン・タイン（UK）

<http://european-biosolids.com/>

■POLLUTEC

2020年12月1日（火）～4日（金）

リヨン（フランス）

<https://www.pollutec.com/en/home/>

■POWERGEN INDIA

2021年1月4日（月）～5日（火）

ニューデリー（インド）

<https://www.powergen-india.com/>

■Fuels of The Future 2021

2021年1月18日（月）～19日（火）

ベルリン（ドイツ）

<https://www.fuels-of-the-future.com/>

■International Conference Progress in Biogas 2021

2021年3月10日（水）～12日（金）

シュトゥットガルト（ドイツ）

<https://ibbk-biogas.com/schedule/progress-in-biogas/>

◎International Biomass CONGRESS & EXPO

2021年3月23日（火）～24日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

[https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass\\_index\\_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php)

◎13th Biofuels International Conference & Expo

2021年3月23日（火）～24日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

[https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

■International Biogas Congress & Expo

2021年3月23日（火）～24日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

[https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas\\_index\\_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2021.php)

■Elmia Wood

2021年6月2日（水）～5日（土）

ヨンショーピン（スウェーデン）

<https://www.elmia.se/wood/>

■IFAT 2020

2022年5月30日（月）～6月3日（金）

ミュンヘン（ドイツ）

<https://www.ifat.de/en/>

## 5. 2020年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報（都道府県順）

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

※前号までに掲載した情報はホームページの「導入補助情報まとめ」に載せていますので、そちらをご覧ください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

### 【北海道】

◆北見市「木質ペレットストーブ等導入支援事業補助金」

<https://www.city.kitami.lg.jp/docs/2014052600024/>

◇津別町「木質ペレットストーブ導入支援事業」

<https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/05guide/2014-0707-0902-7.html>

◇陸別町「陸別町一般家庭等ペレットストーブ導入補助金」

[https://www.rikubetsu.jp/d1w\\_reiki/418902200004000000MH/418902200004000000MH/418902200004000000MH.html](https://www.rikubetsu.jp/d1w_reiki/418902200004000000MH/418902200004000000MH/418902200004000000MH.html)

### 【秋田県】

◇八峰町「八峰町ペレットストーブ普及促進事業助成金」

[https://public.jourekun.jp/happou\\_town/reiki/act/frame/frame110000662.htm](https://public.jourekun.jp/happou_town/reiki/act/frame/frame110000662.htm)

### 【山形県】

◇飯豊町「ペレットストーブ導入促進事業」「木質ペレット版ポイント事業」

[https://www.town.iide.yamagata.jp/001/teijyuu\\_kurashi.html](https://www.town.iide.yamagata.jp/001/teijyuu_kurashi.html)

◇鮭川村「令和2年度鮭川村再生可能エネルギー設備導入事業」

<http://www.vill.sakegawa.yamagata.jp/topics/796>

### 【福島県】

◇古殿町「古殿町新エネルギー設備設置費補助金」

<https://www.town.furudono.fukushima.jp/kurashi/jyutaku-tochi-koutu/taiyoukouhatuden/11>

### 【長野県】

◇安曇野市「安曇野市ペレットストーブ導入促進事業補助金」

<https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/30/60855.html>

◆飯田市「令和2年度飯田市ペレットストーブ・ペレットボイラー設置補助金」

<https://www.city.iida.lg.jp/site/ecomodel/2020perextutohojo.html>

◆飯田市「令和2年度飯田市木質バイオマス機器（薪ストーブ・薪ボイラー・竹ボイラー）設置補助金」

<https://www.city.iida.lg.jp/site/ecomodel/2020makitakehojo.html>

◆長和町「長和町森のエネルギー推進事業補助金」

[http://www.nagawa.ne.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/r233RG00000688.html](http://www.nagawa.ne.jp/reiki_int/reiki_honbun/r233RG00000688.html)

◇山之内町「ペレットストーブ等設置事業補助金」

<http://www.town.yamanouchi.nagano.jp/hojo.html>

### 【島根県】

◆隠岐の島町「木質ペレット熱利用設備設置事業補助金」

<https://www.town.okinoshima.shimane.jp/www/contents/1496363746740/index.html>

◇松江市「松江市再生可能エネルギー機器等導入促進事業補助金」

<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gomi/kankyau/hojokin/suto-bu.html>

### 【岡山県】

◇鏡野町「家庭の省エネ機器導入促進補助金」

<http://www.town.kagamino.lg.jp/?p=138475>

### 【広島県】

◇安芸太田町「ペレットストーブ等購入促進制度」

<http://www.akiota.jp/sangyo/pellet-stove.html>

◇東広島市「東広島市薪・木質ペレットストーブ設置補助金」  
[https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/m313RG00001278.html](https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/m313RG00001278.html)

<https://www.town.minamioguni.lg.jp/gyousei/%E3%83%9A%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%96%E7%AD%89%E8%B3%BC%E5%85%A5%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E9%87%91%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%28%E4%BB%A4%E5%92%8C%EF%BC%92%E5%B9%B4%E5%BA%A6%29.pdf>

【熊本県】

◇南小国町「南小国町ペレットストーブ等購入補助金」

## 6. 公募等情報（締切順）

■鹿児島県「鹿児島県再生可能エネルギー加速化支援事業補助金」

募集期間 2020年5月25日（月）～7月10日（金）

<http://www.pref.kagoshima.jp/ac10/kasokushien.html>

■福島県飯館村「飯館から始まる森林再生と未来志向型農業体系（木質バイオマス施設）緊急整備事業実施主体の募集について」

提出期限 2020年7月15日（水）

<https://www.vill.iitate.fukushima.jp/soshiki/4/5967.html>

■自然保護助成基金「第31期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成」

募集期間 2020年6月1日（月）～7月15日（水）

<http://www.pronaturajapan.com/foundation/pronaturafund/31pnfbosyu>

■兵庫県「令和2年度地域創生！再エネ発掘プロジェクト 設備導入無利子貸付事業」

募集期間 2020年3月2日（月）～7月17日（金）

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk24/r2saienehakkutu\\_boshuu.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk24/r2saienehakkutu_boshuu.html)

■NEDO「バイオジェット燃料生産技術開発事業／実証を通じたサプライチェーンモデルの構築、微細藻類基盤技術開発」に係る公募について

公募期間 2020年5月12日（火）～2020年7月17日（金）

[https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2\\_100285.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100285.html)

■沖縄県「おきなわ型省エネ設備等普及事業補助金」

募集期間 2020年5月12日（火）～7月17日（金）

[https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/saisei/20190807\\_o](https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/saisei/20190807_o)

[kinawagata\\_eco.html](http://www.kinawagata.eco.html)

■（公社）国土緑化推進機構、他「2020年度林野庁補助事業【『木の文化』の発信・『木のおもてなし』の提案】事業モデル地域（ワークショップ等・プロモーション映像制作等）募集のご案内」

応募締切 2020年7月17日（金）

[http://www.green.or.jp/topics/omotenashi\\_2020/](http://www.green.or.jp/topics/omotenashi_2020/)

■（一社）低炭素投資促進機構「バイオマス発電設備第3回入札」

受付期間 2020年6月12日（金）～7月22日（水）

<https://www.teitanso.or.jp/news/2020%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e5%85%a5%e6%9c%ad%e3%81%ab%e9%96%a2%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%a6/>

■（株）Spero「次世代型サステナビリティ事業開発プログラム『SUSTAINABLE FOREST ACTION 2020』募集開始のお知らせ」事業開発経験者の募集期間 2020年6月1日（月）～7月27日（月）

<https://news.allabout.co.jp/articles/p/00000001.000056075/>

<https://sustainable-forest-action.net/>

■長野県「令和2年度地域主導型自然エネルギー創出支援事業」

募集期間 2020年6月25日（木）～7月30日（木）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/tiikisyudou.html>

■（一財）新エネルギー財団「令和2年度『新エネ大賞』の募集開始」

募集期間 2020年5月18日（月）～7月31日（金）

[https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu\\_r02.html](https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu_r02.html)

■神奈川県「令和2年度地域電力供給システム整備事業」  
公募期間 2020年6月8日(月)～7月31日(金)  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/e3g/cnt/f533002/p941455.html>

■(一社)環境共創イニシアチブ「令和2年度地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業費補助金(地域マイクログリッド構築事業)」  
公募期間 2次締切:2020年7月31日(金)  
3次締切:2020年9月30日(水)  
<https://sii.or.jp/microgrid02/note1.html>

■滋賀県「令和2年度滋賀県分散型エネルギーシステム導入加速化事業補助金」  
募集期間 3次締切:2020年7月31日(金)  
4次締切:2020年8月31日(月)  
最終締切:2020年9月30日(水)  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/311787.html>

■滋賀県「令和2年度滋賀県省エネ設備導入加速化事業補助金の募集について」  
募集期間 3次締切:7月31日(金曜日)  
4次締切:8月31日(月曜日)  
最終締切:9月30日(水曜日)  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/311718.html>

■ウッドデザイン賞運営事務局「ウッドデザイン賞2020」  
募集期間 2020年6月22日(月)～7月31日(金)  
<https://www.wooddesign.jp/>

■長野県「令和2年度自然エネルギー地域発電推進事業の対象となる事業を募集します」  
募集期間 2020年7月3日(金)～8月3日(月)  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/tii/kihatuden-suishin.html>

■山形県「令和2年度山形県3R研究開発事業費補助金の事業計画募集」

募集期間 ～2020年8月24日(月)  
[https://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050010/3rkenkyukaihatsu/R2\\_3Rhojyokin\\_bosyuu.html](https://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050010/3rkenkyukaihatsu/R2_3Rhojyokin_bosyuu.html)

■北海道「令和2年度北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞の候補者を募集しています!」  
応募受付期間 2020年6月24日(水)～8月28日(金)  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sene2/sokusintaisyo-bosyu.htm>

■北海道「エネルギー地産地消事業化モデル支援事業(新エネルギー有効活用モデル)」  
公募期間:2020年6月10日(水)～8月31日(月)  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/emodel-yukokatsuyo.htm>

■北海道「新エネルギー設計支援事業」  
公募期間:2020年6月10日(水)～8月31日(月)  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sekkeishien.htm>

■北海道「令和2年度(2020年度)地域資源活用基盤整備支援事業費補助金」  
公募期間:2020年6月10日(水)～8月31日(月)  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kiban.htm>

■北海道「地域新エネルギー導入加速化調査支援事業」  
公募期間:2020年6月10日(水)～8月31日(月)  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/chousashien.htm>

■愛媛県「再生可能エネルギー及び水素エネルギー導入可能性調査事業の補助事業者を募集します」  
公募期間 2020年4月1日(水)～8月31日(月)  
<https://www.pref.ehime.jp/h15600/energy/kanouseichousa.html>

■(公財)SOMPO環境財団「学術研究助成」  
募集期間 ～2020年8月31日(月)  
<https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

■トヨタ環境活動助成プログラム事務局「トヨタ環境活動助成プログラム」  
募集期間 2020年4月6日(月)～9月3日(木)

<https://global.toyota.jp/sustainability/esg/challenge2050/challenge6/ecogrant/>

■福島県「令和2年度福島県地域参入型再生可能エネルギー導入支援事業（設備導入事業）補助金」

応募期間 2020年6月4日（木）～9月30日（水）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/chiset01.html>

■農林中央金庫「2020年度林業労働安全性向上対策事業」

下期募集 2020年9月1日（火）～9月30日（水）

[https://www.nochubank.or.jp/news/news\\_release/2020/2020.html](https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2020/2020.html)

■栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2020年6月1日（月）～11月6日（金）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukuriojyo.html>

■兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備導入費用を助成」

受付期間 2020年4月1日（水）～2021年3月16日（火）

<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/shiminseikatsu/seikatsueisei/tantojoho/shinenerugi/1515747696234.html>

■京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

申請期間 2015年10月1日（木）～2021年3月31日（水）

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」

受付期間 2017年4月1日（土）～2022年3月31日（木）

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy\\_others/municipal\\_support/current.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html)

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

[http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/r254RG00001291.html](http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html)

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

[http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki\\_honbun/r191RG0000129.html#e000000030](http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030)

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

[https://www.jeas.or.jp/activ/prom\\_24\\_00.html](https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html)

※融資制度

■横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyouritt>

[igaido.html](#)

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>